

令和二年度春日部市立春日部南中学校入学式 式辞

春の香りに満ち溢れる季節を迎えました。

呼名をもって確認をさせていただきました、169名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

臨時休校がはじまり、春休みを含めて一ヶ月以上が経過しました。

新入生の皆さんも、日常が失われ、不便や不安を感じる中で、小学校の卒業式が実施され、さらに厳しく社会情勢が変化する中で、今日の入学式を迎えたわけです。

皆さんを育ててくれた保護者の皆様の祝福のもとでの入学式ができないことは、大変残念で申し訳ない気持ちでいっぱいですが、職員、在校生を代表し、皆さんの入学を心よりお祝い申し上げます。

さて、皆さんは、六年間の小学校生活に別れを告げ、希望と不安を胸に、本日、春日部南中学校の門をくぐって来たことと思います。中学校の三年間は、皆さんが心身ともに大きく変化し、成長する三年間でもあります。

中学校では、小学校で学んできた基礎をもとに、自分の進む道を、自分で考え、自分の手で切り拓いていかなければなりません。

そのために、二つのお話しをしたいと思います。

一つ目は、将来の夢や目標をもつということです。「自分の好きなことは何か」「自分のしたいことは何か」「自分にできることは何か」をあらゆる場面で問い続けていきましょう。人は誰でもよさやとりえを持っています。そのよさを友達とのかかわりの中で、認め合い、高め合っていきましょう。

必ず、なりたい自分が見つかるはずです。

夢や目標は、挫けそうになる心を励まし、大きな勇気を与えてくれます。

本校の学校教育目標「夢に向かって未来を拓く」を皆さん一人一人が実践してくれることを期待しています。

二つ目は、あたり前のことあたり前にやるということです。「凡事徹底」という言葉を使うこともあります。具体的には、学校生活の中で、「時を守り、場を清め、礼を正す」を徹底してほしいということです。「時を守り」とは時間を守ることです。「場を清める」とは、掃除や整理整頓をしっかりとやることです。「礼を正す」とは、あいさつや返事をしっかりとするという事です。こうした一見「あたり前のこと」を継続し、一つ一つ積み重ねていくことが、皆さんの学力の向上や心の成長につながるのです。

先輩とともに「あたり前のことがひかり輝く学校」を創っていきましょう。

最後になりますが、こうした困難な社会情勢の中で、人生の節目を迎えている皆さんだからこそ、これからの学校生活でも、忍耐強く、協力し、助け合っていける学年になることを確信しています。

今後の皆さんの限りない可能性と成長を願い、式辞といたします。

令和二年四月八日

春日部市立春日部南中学校長 永野 修